



英語で論文を書きましょう！

JIP 編集長
横田治夫
東京工業大学

なぜ英語で論文を



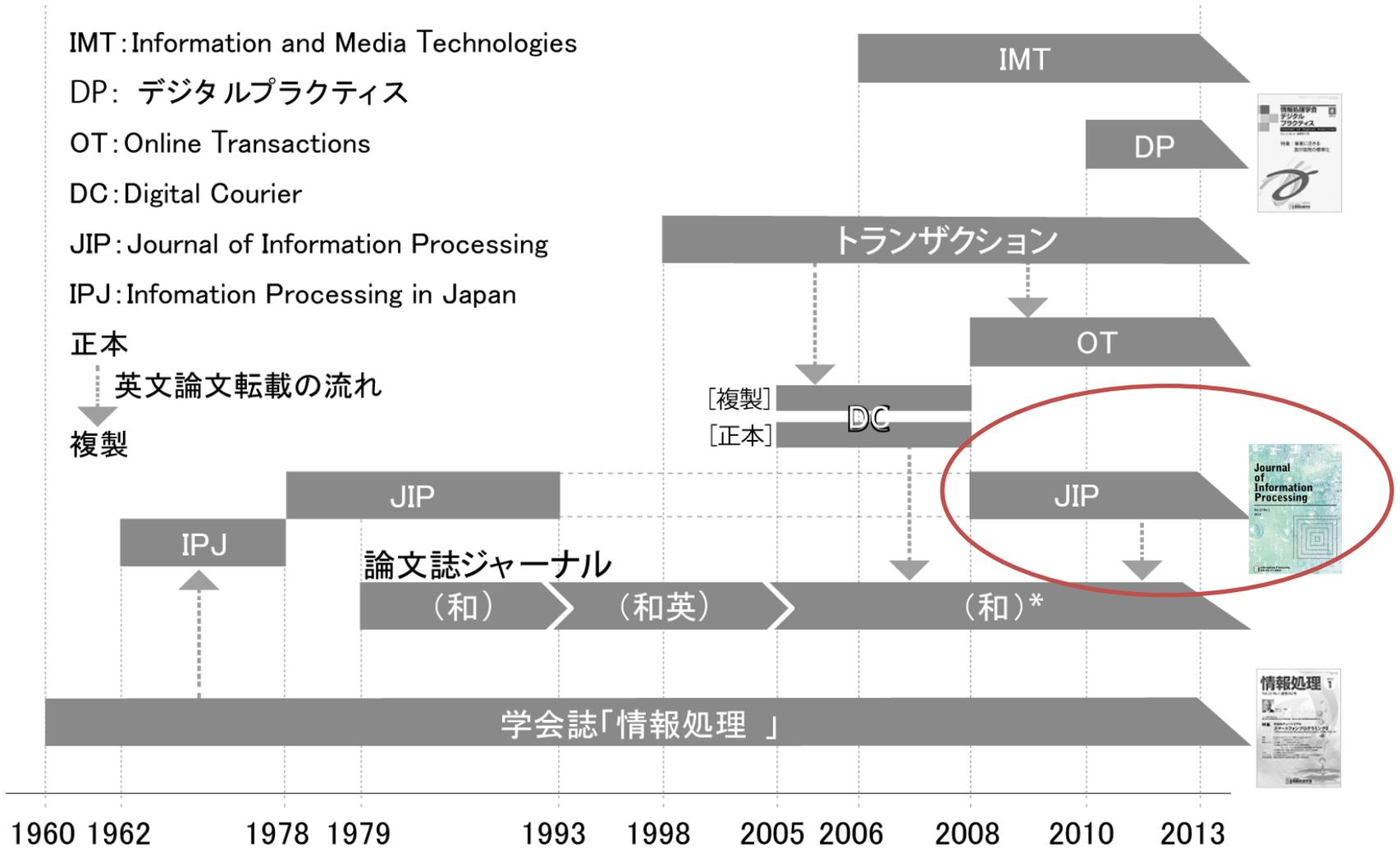
- 今やグローバルな時代
 - 日本語の発表だけでは世界から見えない
 - 日本で既にやっていたといっても通じない
 - 他の分野では論文誌は英語論文のみの分野も
- 日本の情報処理分野研究の積極的な発信
 - 情報処理分野における日本の地位向上
- 日本の学会のアクティビティを示す
 - 学会としての発言の有効性にも影響

情報処理学会の英文論文誌



- 名称
 - JIP: Journal of Information Processing
- J-STAGE から公開 (学会Webページからどうぞ)
 - <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjjip/>
- 和文論文誌 (情報学広場から公開) との関係
 - 和文論文誌にも Preprint が載ります
 - 特集号で同じ号に入れるため
 - **参考文献に挙げるときには和文誌でなく JIP の方を!**
- これまでの歴史
 - 紆余曲折

論文誌の変遷



* 実際には英文論文も掲載されているが、それは JIP の複製なので(和)と記した。

JIP 編集の仕組み



- 編集委員会
 - 基本は和文論文誌の編集委員会と一緒
 - 査読処理の流れも基本的に和文と一緒
 - 著名な海外の研究者もメンバー(次スライド)
- 特集号の英文論文も正規版として収録
 - 英文のみの特集号もあります
- 国際会議や研究会で発表した内容もOK
 - 著作権には注意が必要

海外編集委員



- Calton PU (Georgia Tech., USA)
- Rémi COULOM (U. of Lille 3, France)
- Xiaofang ZHOU (Queen's Land U., Australia)
- Winston SEAH (U. of Wellington, New Zealand)
- Jeffrey Xu YU (Chinese U. of Hong Kong)
- Kunsoo PARK (Seoul National U., Korea)
- Hee-Kap AHN (POSTECH, Korea)
- 他

英文論文を書くために

- 基本は英語で考えましょう
 - 日本語を翻訳するのではなく
- 英語は論理的な言語（日本語より）
 - 論文を書くには適している
 - 日本語であいまいに書いていた点を修正可能
 - 例：主語は何（日本語はかなりあいまい）
- 論理的展開を大切に、簡潔に
 - セクション、文、節、で何を書きたいのか
 - アブスト、イントロ、結論でポイントを3回
- スペルチェック、文法チェックは入念に
 - 三単現のSは当然
- JIP の採択率は？

JIP に投稿するメリット



- 今なら掲載料が無料
 - キャンペーン中（2015年7月まで）
- 日本の文化を理解した査読が受けられます
- DBLP、SCOPUS（文献DB）に書誌情報が掲載
- インパクトファクタ取得を目指しています
 - なかなか大変
 - 参照されることが重要
 - JIP の論文を是非参考文献にあげましょう！
 - 皆さんの力で盛り上げてください